

I 平成24年鉱工業指数の動向

1 概況

平成24年の本県の鉱工業指数(原指数)は、平成22年を100.0とした年平均で見ると、

生産指数は96.3となり、対前年比で0.5%の低下となった。
 生産者出荷指数は101.1となり、対前年比で0.5%の低下となった。
 生産者製品在庫指数は97.4となり、対前年比で0.4%の低下となった。

本県鉱工業の推移をみると、生産指数は平成21年から4年連続して低下となった。出荷指数は平成22年以来、2年ぶりに低下となった。在庫指数は平成23年から2年連続して低下となった。

生産指数の低下要因を業種別にみると、食料品工業、プラスチック製品工業、パルプ・紙・紙加工品工業などの低下により、全体として対前年比0.5%の低下となった。

出荷指数の低下要因を業種別にみると、食料品工業、プラスチック製品工業、パルプ・紙・紙加工品工業などの低下により、全体として対前年比0.5%の低下となった。

在庫指数の低下要因を業種別にみると、食料品工業、金属製品工業、窯業・土石製品工業などの低下により、全体として対前年比0.4%の低下となった。

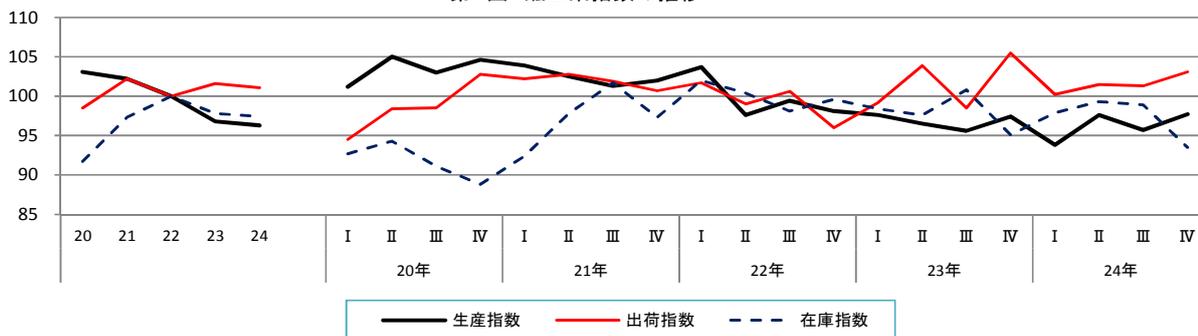
第1表 鉱工業指数(原指数)・対前年比(%) 平成22年=100.0

	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
生産指数	103.1	102.2	100.0	96.8	96.3
前年比(%)	—	▲ 0.9	▲ 2.2	▲ 3.2	▲ 0.5
出荷指数	98.5	102.2	100.0	101.6	101.1
前年比(%)	—	3.8	▲ 2.2	1.6	▲ 0.5
在庫指数	91.7	97.3	100.0	97.8	97.4
前年比(%)	—	6.1	2.8	▲ 2.2	▲ 0.4

第2表 鉱工業指数(季節調整済指数)・対前期比(%) 平成22年=100.0

	平成23年				平成24年			
	I期	II期	III期	IV期	I期	II期	III期	IV期
生産指数	97.6	96.5	95.6	97.4	93.8	97.6	95.7	97.7
前期比(%)	▲ 0.5	▲ 1.1	▲ 0.9	1.9	▲ 3.7	4.1	▲ 1.9	2.1
出荷指数	99.2	103.9	98.5	105.5	100.2	101.5	101.3	103.1
前期比(%)	3.3	4.7	▲ 5.2	7.1	▲ 5.0	1.3	▲ 0.2	1.8
在庫指数	98.4	97.6	100.8	95.1	97.9	99.3	98.9	93.5
前期比(%)	▲ 1.2	▲ 0.8	3.3	▲ 5.7	2.9	1.4	▲ 0.4	▲ 5.5

第1図 鉱工業指数の推移



※年指数は原指数、四半期別指数は季節調整済指数

(1)生産

生産指数(指数水準96.3、対前年比0.5%減)

生産の低下に寄与した業種は、食料品工業、プラスチック製品工業、パルプ・紙・紙加工品工業の3業種であった。

生産の上昇に寄与した業種は、金属製品工業、窯業・土石製品工業、その他の工業などの6業種であった。

四半期別にみると、次のとおりである。

I期(指数水準93.8、対前期比3.7%減)

生産の低下に寄与した業種は、食料品工業(対前期比8.8%減)などの5業種であった。

生産の上昇に寄与した業種は、窯業・土石製品工業(対前期比8.6%増)などの3業種であった。

II期(指数水準97.6、対前期比4.1%増)

生産の上昇に寄与した業種は、食料品工業(対前期比12.2%増)などの4業種であった。

生産の低下に寄与した業種は、化学・石油製品工業(対前期比7.8%減)などの5業種であった。

III期(指数水準95.7、対前期比1.9%減)

生産の低下に寄与した業種は、窯業・土石製品工業(対前期比2.1%減)などの6業種であった。

生産の上昇に寄与した業種は、食料品工業(対前期比0.3%増)などの3業種であった。

IV期(指数水準97.7、対前期比2.1%増)

生産の上昇に寄与した業種は、窯業・土石製品工業(対前期比4.0%増)などの6業種であった。

生産の低下に寄与した業種は、食料品工業(対前期比0.8%減)などの3業種であった。

第3表 業種別生産指数の動き

平成22年=100.0

	ウェイト	原指数			季節調整済指数					対前年(期)上昇率(%)					
					H23	H24				原指数		24年 季節調整済指数			
		22年	23年	24年	IV期	I期	II期	III期	IV期	23年	24年	I期	II期	III期	IV期
鉱工業	10000.0	100.0	96.8	96.3	97.4	93.8	97.6	95.7	97.7	▲ 3.2	▲ 0.5	▲ 3.7	4.1	▲ 1.9	2.1
鉄鋼業	386.1	100.0	100.7	100.8	108.0	98.6	104.8	100.2	102.1	0.7	0.1	▲ 8.7	6.3	▲ 4.4	1.9
金属製品工業	1231.3	100.0	102.8	111.1	115.8	114.7	109.3	106.5	111.8	2.8	8.1	▲ 0.9	▲ 4.7	▲ 2.6	5.0
窯業・土石製品工業	1806.7	100.0	93.4	95.8	89.1	96.8	94.7	92.7	96.4	▲ 6.6	2.6	8.6	▲ 2.2	▲ 2.1	4.0
化学・石油製品工業	962.2	100.0	108.2	108.5	119.8	114.5	105.6	105.7	105.5	8.2	0.3	▲ 4.4	▲ 7.8	0.1	▲ 0.2
プラスチック製品工業	174.5	100.0	112.3	108.3	109.8	115.1	108.7	104.8	110.5	12.3	▲ 3.6	4.8	▲ 5.6	▲ 3.6	5.4
パルプ・紙・紙加工品工業	164.0	100.0	97.7	94.2	96.6	96.4	94.9	90.8	93.7	▲ 2.3	▲ 3.6	▲ 0.2	▲ 1.6	▲ 4.3	3.2
食料品工業	4255.3	100.0	92.3	87.7	88.7	80.9	90.8	91.1	90.4	▲ 7.7	▲ 5.0	▲ 8.8	12.2	0.3	▲ 0.8
その他の工業	849.0	100.0	100.4	101.1	100.4	100.4	101.4	102.2	101.4	0.4	0.7	0.0	1.0	0.8	▲ 0.8
鉱業	170.9	100.0	92.3	94.9	88.3	92.3	95.4	93.2	95.8	▲ 7.7	2.8	4.5	3.4	▲ 2.3	2.8
産業総合(参考)	12444.3	100.0	97.3	96.7	97.8	94.8	98.3	96.1	97.3	▲ 2.7	▲ 0.6	▲ 3.1	3.7	▲ 2.2	1.2

注1)その他の工業は、非鉄金属工業、印刷業、繊維工業、木材・木製品工業を統合したものの。

注2)産業総合は鉱工業と電力・ガス事業を統合したものの。

(2) 出荷

出荷指数(指数水準101.1、対前年比0.5%減)

出荷の低下に寄与した業種は、食料品工業、プラスチック製品工業、パルプ・紙・紙加工品工業などの4業種であった。

出荷の上昇に寄与した業種は、化学・石油製品工業、金属製品工業、窯業・土石製品工業などの5業種であった。

四半期別にみると、次のとおりである。

I 期(指数水準100.2、対前期比5.0%減)

出荷の低下に寄与した業種は、食料品工業(対前期比11.7%減)などの5業種であった。

出荷の上昇に寄与した業種は、窯業・土石製品工業(対前期比7.7%増)などの4業種であった。

II 期(指数水準101.5、対前期比1.3%増)

出荷の上昇に寄与した業種は、食料品工業(対前期比11.5%増)などの4業種であった。

出荷の低下に寄与した業種は、化学・石油製品工業(対前期比8.3%減)などの5業種であった。

III 期(指数水準101.3、対前期比0.2%減)

出荷の低下に寄与した業種は、食料品工業(対前期比2.6%減)などの8業種であった。

出荷の上昇に寄与した業種は、化学・石油製品工業(対前期比4.0%増)の1業種であった。

IV 期(指数水準103.1、対前期比1.8%増)

出荷の上昇に寄与した業種は、化学・石油製品工業(対前期比2.1%増)などの8業種であった。

出荷の低下に寄与した業種は、その他の工業(対前期比0.4%減)の1業種であった。

第4表 業種別出荷指数の動き

平成22年=100.0

	ウェイト	原指数			季節調整済指数					対前年(期)上昇率(%)					
					H23		H24			原指数		24年 季節調整済指数			
		22年	23年	24年	IV期	I 期	II 期	III 期	IV 期	23年	24年	I 期	II 期	III 期	IV 期
鉱工業	10000.0	100.0	101.6	101.1	105.5	100.2	101.5	101.3	103.1	1.6	▲ 0.5	▲ 5.0	1.3	▲ 0.2	1.8
鉄鋼業	347.1	100.0	98.5	98.6	101.2	97.1	102.8	94.8	96.8	▲ 1.5	0.1	▲ 4.1	5.9	▲ 7.8	2.1
金属製品工業	764.3	100.0	106.0	114.1	119.9	118.0	114.4	108.3	113.1	6.0	7.6	▲ 1.6	▲ 3.1	▲ 5.3	4.4
窯業・土石製品工業	1171.7	100.0	94.9	95.4	89.4	96.3	92.7	91.6	97.2	▲ 5.1	0.5	7.7	▲ 3.7	▲ 1.2	6.1
化学・石油製品工業	3350.2	100.0	107.1	111.5	118.3	117.9	108.1	112.4	114.8	7.1	4.1	▲ 0.3	▲ 8.3	4.0	2.1
プラスチック製品工業	114.8	100.0	142.0	120.5	165.8	128.1	126.0	104.7	126.6	42.0	▲ 15.1	▲ 22.7	▲ 1.6	▲ 16.9	20.9
パルプ・紙・紙加工品工業	111.3	100.0	98.8	96.1	97.1	97.6	96.8	92.6	95.0	▲ 1.2	▲ 2.7	0.5	▲ 0.8	▲ 4.3	2.6
食料品工業	3617.1	100.0	97.3	90.7	95.6	84.4	94.1	91.7	92.0	▲ 2.7	▲ 6.8	▲ 11.7	11.5	▲ 2.6	0.3
その他の工業	442.8	100.0	101.0	101.3	100.3	101.1	101.8	101.1	100.7	1.0	0.3	0.8	0.7	▲ 0.7	▲ 0.4
鉱業	80.7	100.0	89.1	86.6	82.8	86.9	87.3	82.0	87.3	▲ 10.9	▲ 2.8	5.0	0.5	▲ 6.1	6.5
産業総合(参考)	12830.6	100.0	101.2	100.5	104.4	100.1	101.2	100.4	101.4	1.2	▲ 0.7	▲ 4.1	1.1	▲ 0.8	1.0

注1) その他の工業は、非鉄金属工業、印刷業、繊維工業、木材・木製品工業を統合したものの。

注2) 産業総合は鉱工業と電力・ガス事業を統合したものの。

(3)在庫

在庫指数(指数水準97.4、対前年比0.4%減)

在庫の低下に寄与した業種は、食料品工業、金属製品工業、窯業・土石製品工業などの6業種であった。

在庫の上昇に寄与した業種は、化学・石油製品工業、プラスチック製品工業、鉄鋼業の3業種であった。

四半期別にみると、次のとおりである。

I期(指数水準97.9、対前期比2.9%増)

在庫の上昇に寄与した業種は、化学・石油製品工業(対前期比4.9%増)などの4業種であった。

在庫の低下に寄与した業種は、金属製品工業(対前期比4.5%減)などの3業種であった。

II期(指数水準99.3、対前期比1.4%増)

在庫の上昇に寄与した業種は、化学・石油製品工業(対前期比12.0%増)などの6業種であった。

在庫の低下に寄与した業種は、金属製品工業(対前期比20.1%減)などの3業種であった。

III期(指数水準98.9、対前期比0.4%減)

在庫の低下に寄与した業種は、化学・石油製品工業(対前期比7.4%減)などの3業種であった。

在庫の上昇に寄与した業種は、金属製品工業(対前期比26.4%増)などの6業種であった。

IV期(指数水準93.5、対前期比5.5%減)

在庫の低下に寄与した業種は、化学・石油製品工業(対前期比9.4%減)などの5業種であった。

在庫の上昇に寄与した業種は、窯業・土石製品工業(対前期比0.3%増)などの4業種であった。

第5表 業種別在庫指数の動き

平成22年=100.0

	ウェイト	原指数			季節調整済指数					対前年(期)上昇率(%)					
					H23	H24				原指数		24年 季節調整済指数			
		22年	23年	24年	IV期	I期	II期	III期	IV期	23年	24年	I期	II期	III期	IV期
鉱工業	10000.0	100.0	97.8	97.4	95.1	97.9	99.3	98.9	93.5	▲ 2.2	▲ 0.4	2.9	1.4	▲ 0.4	▲ 5.5
鉄鋼業	569.9	100.0	104.4	106.4	105.3	104.2	106.5	107.3	107.5	4.4	1.9	▲ 1.0	2.2	0.8	0.2
金属製品工業	565.4	100.0	103.8	95.3	112.2	107.2	85.7	108.3	82.0	3.8	▲ 8.2	▲ 4.5	▲ 20.1	26.4	▲ 24.3
窯業・土石製品工業	1220.0	100.0	90.3	88.6	82.9	86.2	87.6	90.2	90.5	▲ 9.7	▲ 1.9	4.0	1.6	3.0	0.3
化学・石油製品工業	3196.5	100.0	95.5	99.5	92.6	97.1	108.8	100.7	91.2	▲ 4.5	4.2	4.9	12.0	▲ 7.4	▲ 9.4
プラスチック製品工業	131.8	100.0	117.8	130.3	130.1	129.7	131.9	142.6	118.2	17.8	10.6	▲ 0.3	1.7	8.1	▲ 17.1
パルプ・紙・紙加工品工業	92.3	100.0	114.4	98.9	109.5	113.8	100.3	89.4	90.0	14.4	▲ 13.5	3.9	▲ 11.9	▲ 10.9	0.7
食料品工業	3471.7	100.0	100.2	97.3	97.5	97.5	98.5	96.9	96.2	0.2	▲ 2.9	0.0	1.0	▲ 1.6	▲ 0.7
その他の工業	249.7	100.0	101.1	96.0	97.1	97.5	94.7	95.7	96.2	1.1	▲ 5.0	0.4	▲ 2.9	1.1	0.5
鉱業	502.7	100.0	90.2	90.0	87.3	87.3	88.6	92.2	91.8	▲ 9.8	▲ 0.2	0.0	1.5	4.1	▲ 0.4
産業総合(参考)	10000.0	100.0	97.8	97.4	95.1	97.9	99.3	98.9	93.5	▲ 2.2	▲ 0.4	2.9	1.4	▲ 0.4	▲ 5.5

注1)その他の工業は、非鉄金属工業、印刷業、繊維工業、木材・木製品工業を統合したものの。

注2)産業総合は鉱工業と電力・ガス事業を統合したものの。

2 業種別の動向

(1) 鉄鋼業

生産指数(指数水準100.8、対前年比0.1%増)

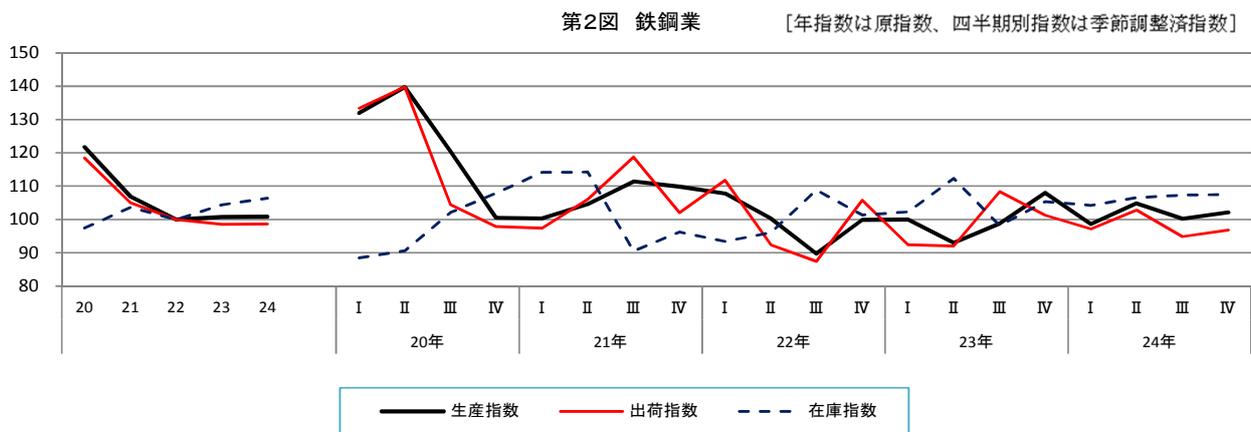
生産の上昇に寄与した品目は、鉄蓋、軽量形鋼であった。

出荷指数(指数水準98.6、対前年比0.1%増)

出荷の上昇に寄与した品目は、鉄蓋、軽量形鋼、線材・バーインコイルであった。

在庫指数(指数水準106.4、対前年比1.9%増)

在庫の上昇に寄与した品目は、小形棒鋼、軽量形鋼、鉄蓋であった。



(2) 金属製品工業

生産指数(指数水準111.1、対前年比8.1%増)

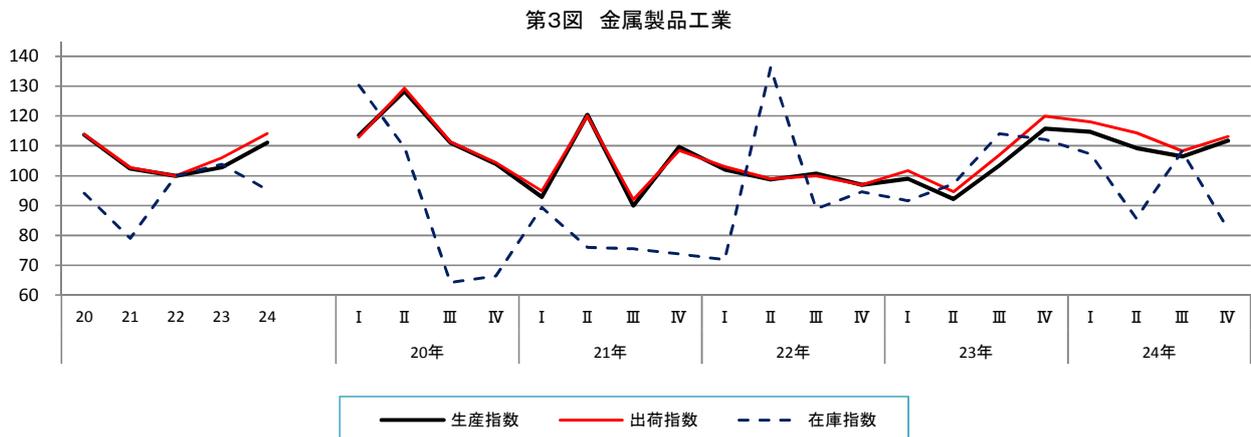
生産の上昇に寄与した品目は、金属製建具（サッシ・シャッター・ドア）、鉄骨、橋りょうなどであった。

出荷指数(指数水準114.1、対前年比7.6%増)

出荷の上昇に寄与した品目は、金属製建具（サッシ・シャッター・ドア）、鉄骨、橋りょうなどであった。

在庫指数(指数水準95.3、対前年比8.2%減)

在庫の低下に寄与した品目は、金属製建具（サッシ・シャッター・ドア）、金網であった。



(3) 窯業・土石製品工業

生産指数(指数水準95.8、対前年比2.6%増)

生産の上昇に寄与した品目は、道路用コンクリート製品、生コンクリート、その他のプレストレストコンクリート製品などであった。

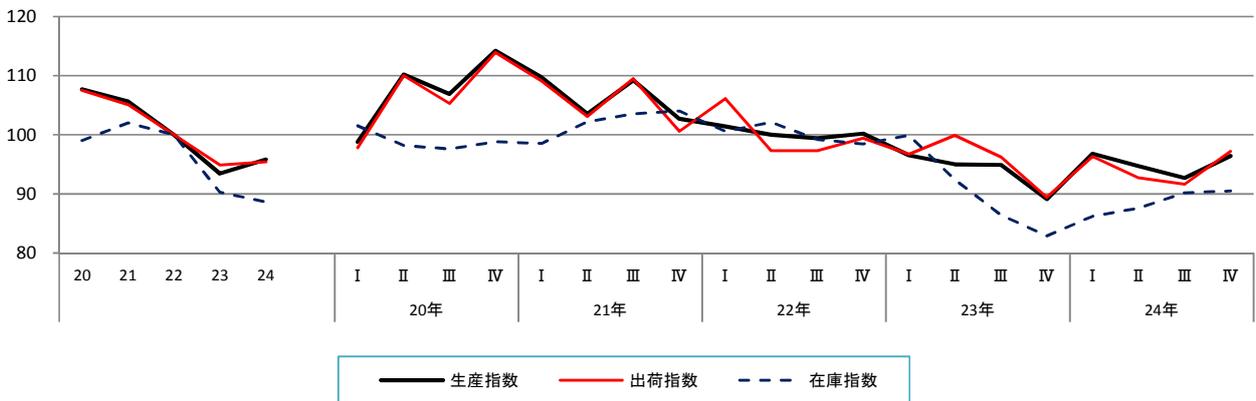
出荷指数(指数水準95.4、対前年比0.5%増)

出荷の上昇に寄与した品目は、生コンクリート、その他のプレストレストコンクリート製品、ポルトランドセメント（普通）などであった。

在庫指数(指数水準88.6、対前年比1.9%減)

在庫の低下に寄与した品目は、遠心力鉄筋コンクリートパイプ、ポルトランドセメント（早強・中庸熱）、ポルトランドセメント（普通）などであった。

第4図 窯業・土石製品工業



(4) 化学・石油製品工業

生産指数(指数水準108.5、対前年比0.3%増)

生産の上昇に寄与した品目は、軽油、C重油、ジェット燃料油などであった。

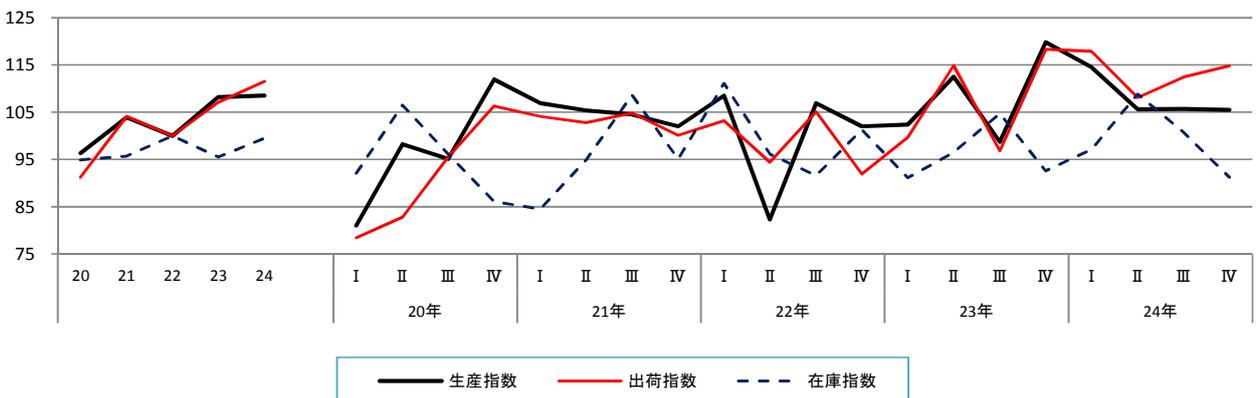
出荷指数(指数水準111.5、対前年比4.1%増)

出荷の上昇に寄与した品目は、C重油、軽油、ジェット燃料油などであった。

在庫指数(指数水準99.5、対前年比4.2%増)

在庫の上昇に寄与した品目は、軽油、配合肥料、灯油などであった。

第5図 化学・石油製品工業



(5) プラスチック製品工業

生産指数(指数水準108.3、対前年比3.6%減)

生産の低下に寄与した品目は、発泡プラスチック製品、プラスチック製容器（中空成形）であった。

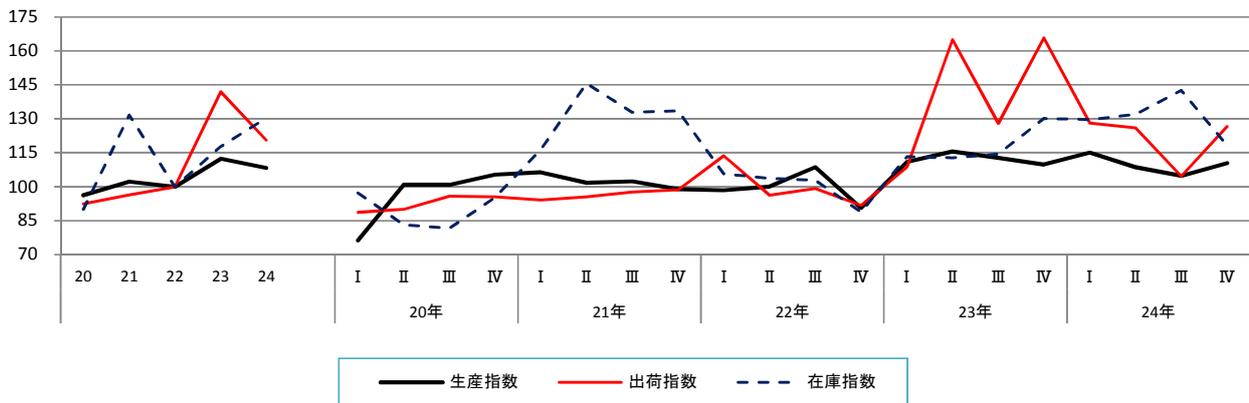
出荷指数(指数水準120.5、対前年比15.1%減)

出荷の低下に寄与した品目は、プラスチック製フィルム・シート、プラスチック製容器（中空成形）、発泡プラスチック製品であった。

在庫指数(指数水準130.3、対前年比10.6%増)

在庫の上昇に寄与した品目は、プラスチック製容器（中空成形）、プラスチック製フィルム・シート、発泡プラスチック製品であった。

第6図 プラスチック製品工業



(6) パルプ・紙・紙加工品工業

生産指数(指数水準94.2、対前年比3.6%減)

生産の低下に寄与した品目は、トイレットペーパー、段ボール、ちり紙などであった。

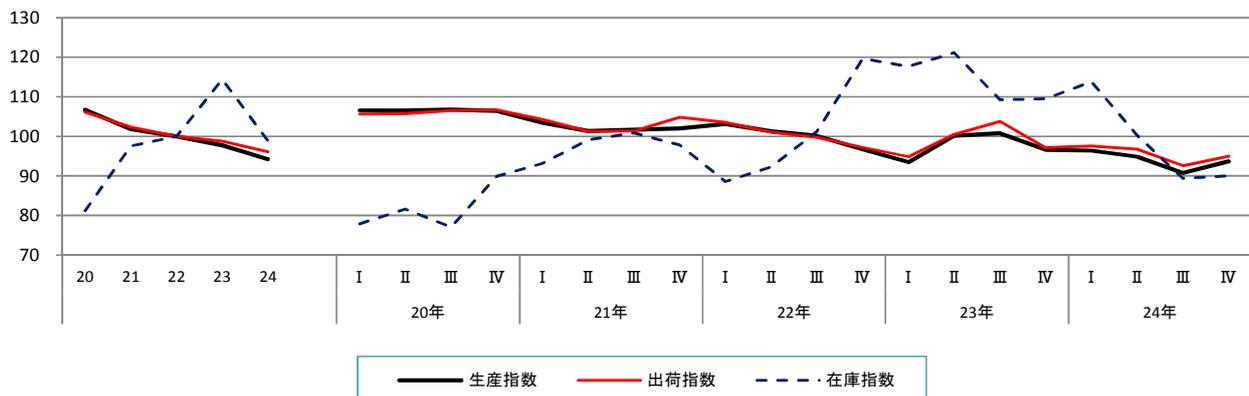
出荷指数(指数水準96.1、対前年比2.7%減)

出荷の低下に寄与した品目は、トイレットペーパー、段ボール、タオル用紙などであった。

在庫指数(指数水準98.9、対前年比13.5%減)

在庫の低下に寄与した品目は、トイレットペーパー、段ボール、タオル用紙であった。

第7図 パルプ・紙・紙加工品工業



(7) 食料品工業

生産指数(指数水準87.7、対前年比5.0%減)

生産の低下に寄与した品目は、分蜜糖、清涼飲料・嗜好飲料、含蜜糖などであった。

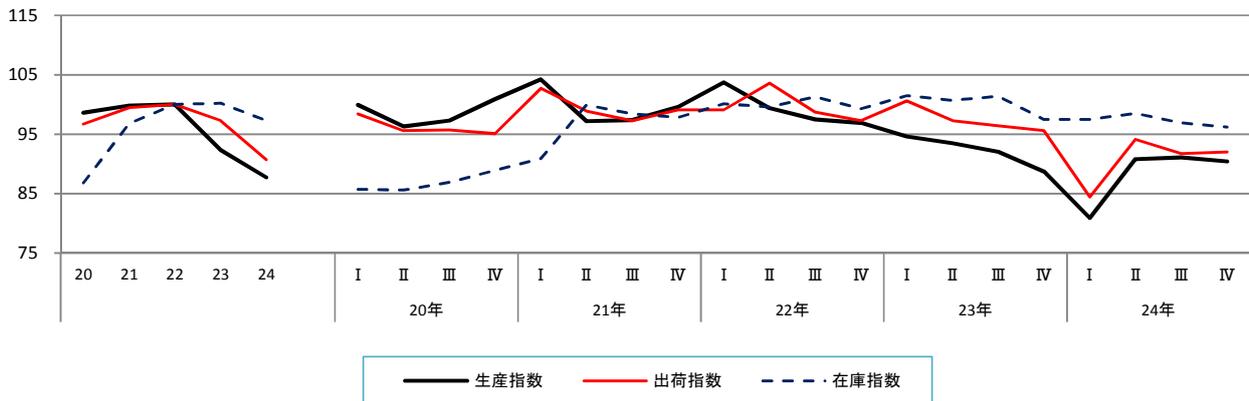
出荷指数(指数水準90.7、対前年比6.8%減)

出荷の低下に寄与した品目は、分蜜糖、精米、清涼飲料・嗜好飲料などであった。

在庫指数(指数水準97.3、対前年比2.9%減)

在庫の低下に寄与した品目は、清涼飲料・嗜好飲料、あわもり、肉缶詰などであった。

第8図 食料品工業



(8) その他の工業

生産指数(指数水準101.1、対前年比0.7%増)

生産の上昇に寄与した品目は、平板印刷（オフセット印刷）であった。

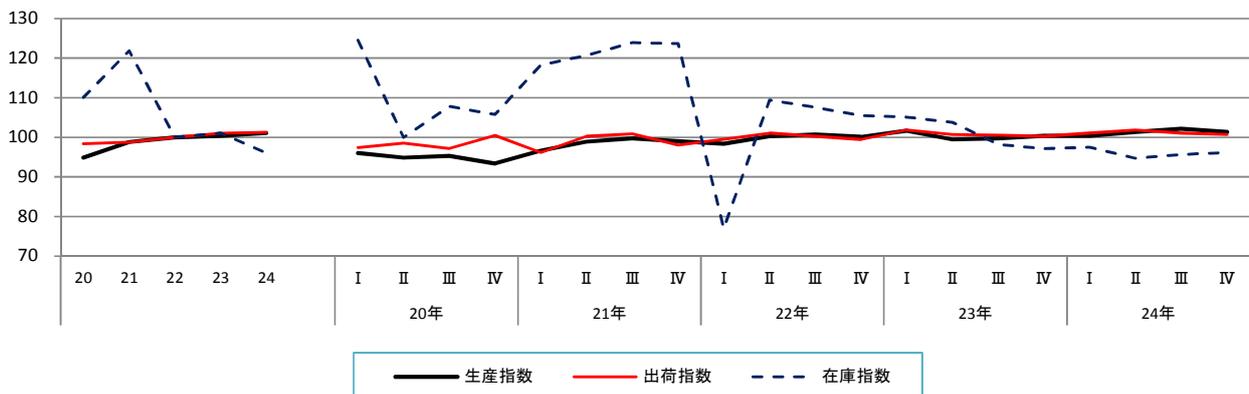
出荷指数(指数水準101.3、対前年比0.3%増)

出荷の上昇に寄与した品目は、平板印刷（オフセット印刷）であった。

在庫指数(指数水準96.0、対前年比5.0%減)

在庫の低下に寄与した品目は、アルミ圧延製品、特殊合板であった。

第9図 その他の工業



(9) 鉱業

生産指数(指数水準94.9、対前年比2.8%増)

生産の上昇に寄与した品目は、石灰石であった。

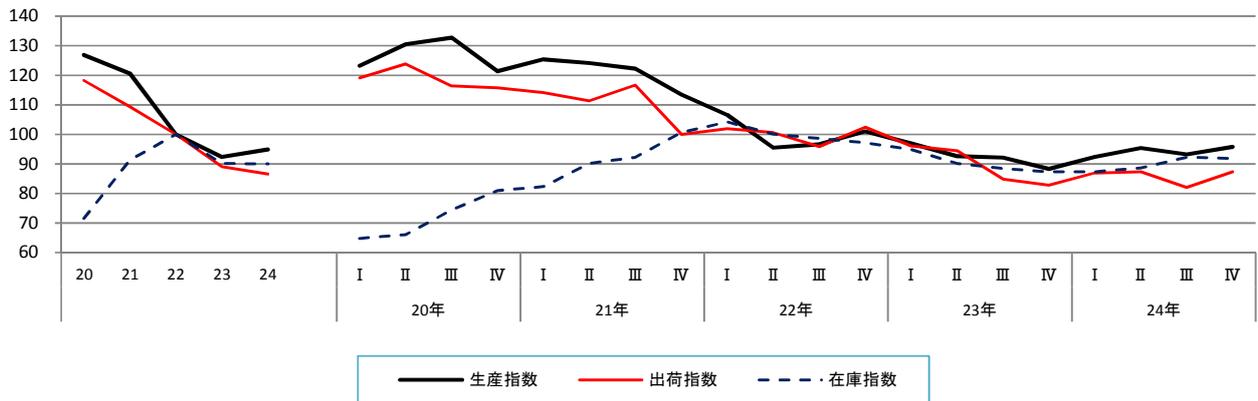
出荷指数(指数水準86.6、対前年比2.8%減)

出荷の低下に寄与した品目は、石灰石、軟けい石であった。

在庫指数(指数水準90.0、対前年比0.2%減)

在庫の低下に寄与した品目は、石灰石であった。

第10図 鉱業



3 財分類別の動向

(1) 生産

生産の動向を財別にみると、

最終需要財は98.8となり、対前年比で1.6%の上昇となった。
生産財は90.3となり、対前年比で5.7%の低下となった。

最終需要財の投資財は102.3(対前年比4.5%増)、消費財は95.6(対前年比0.9%減)となった。
生産財の鉱工業用生産財は75.4(対前年比14.2%減)、その他用生産財は105.8(対前年比1.5%増)となった。

(2) 出荷

出荷の動向を財別にみると、

最終需要財は99.6となり、対前年比で1.0%の低下となった。
生産財は103.4となり、対前年比で0.3%の上昇となった。

最終需要財の投資財は102.9(対前年比3.0%増)、消費財は97.6(対前年比3.5%減)となった。
生産財の鉱工業用生産財は89.4(対前年比10.0%減)、その他用生産財は110.0(対前年比4.8%増)となった。

(3) 在庫

在庫の動向を財別にみると、

最終需要財は96.3となり、対前年比で2.6%の低下となった。
生産財は99.7となり、対前年比で4.3%の上昇となった。

最終需要財の投資財は94.8(対前年比2.6%減)、消費財は97.1(対前年比2.6%減)となった。
生産財の鉱工業用生産財は98.9(対前年比0.2%減)、その他用生産財は100.0(対前年比6.4%増)となった。

第6表 財分類別生産指数

平成22年=100.0

	ウェイト	生産指数(原指数)					対前年増減率(%)				
		20年	21年	22年	23年	24年	20年	21年	22年	23年	24年
鉱工業	10000.0	103.1	102.2	100.0	96.8	96.3	—	▲ 0.9	▲ 2.2	▲ 3.2	▲ 0.5
最終需要財	7075.0	104.9	102.3	100.0	97.2	98.8	—	▲ 2.5	▲ 2.2	▲ 2.8	1.6
投資財	3336.4	110.9	104.4	100.0	97.9	102.3	—	▲ 5.9	▲ 4.2	▲ 2.1	4.5
資本財	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
建設財	3336.4	110.9	104.4	100.0	97.9	102.3	—	▲ 5.9	▲ 4.2	▲ 2.1	4.5
消費財	3738.6	99.4	100.3	100.0	96.5	95.6	—	0.9	▲ 0.3	▲ 3.5	▲ 0.9
耐久消費財	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
非耐久消費財	3738.6	99.4	100.3	100.0	96.5	95.6	—	0.9	▲ 0.3	▲ 3.5	▲ 0.9
生産財	2925.0	98.7	102.0	100.0	95.8	90.3	—	3.3	▲ 2.0	▲ 4.2	▲ 5.7
鉱工業用生産財	1492.7	101.6	103.9	100.0	87.9	75.4	—	2.3	▲ 3.8	▲ 12.1	▲ 14.2
その他用生産財	1432.3	95.6	100.1	100.0	104.2	105.8	—	4.7	▲ 0.1	4.2	1.5

第7表 財分類別出荷指数

平成22年=100.0

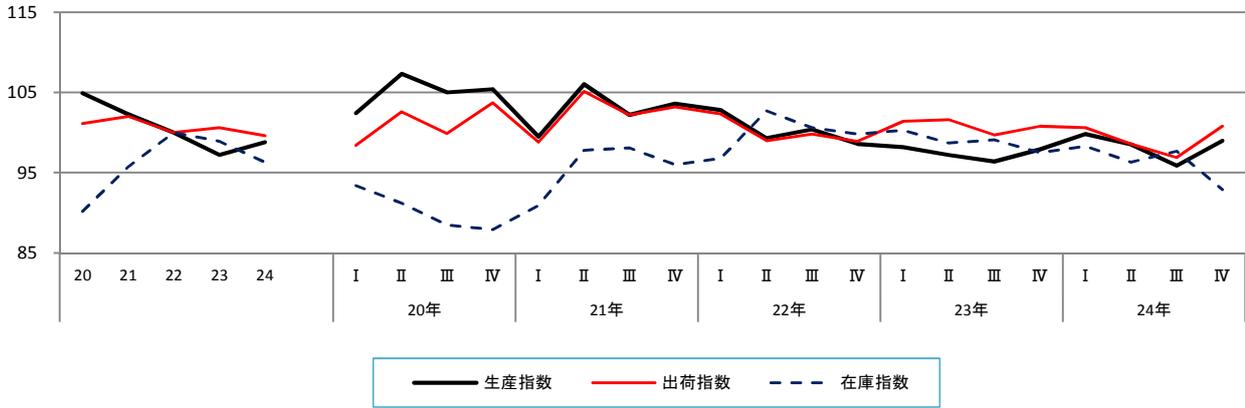
	ウェイト	出荷指数(原指数)					対前年増減率(%)				
		20年	21年	22年	23年	24年	20年	21年	22年	23年	24年
鉱工業	10000.0	98.5	102.2	100.0	101.6	101.1	—	3.8	▲ 2.2	1.6	▲ 0.5
最終需要財	6042.7	101.1	102.0	100.0	100.6	99.6	—	0.9	▲ 2.0	0.6	▲ 1.0
投資財	2236.2	110.8	104.2	100.0	99.9	102.9	—	▲ 6.0	▲ 4.0	▲ 0.1	3.0
資本財	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
建設財	2236.2	110.8	104.2	100.0	99.9	102.9	—	▲ 6.0	▲ 4.0	▲ 0.1	3.0
消費財	3806.5	95.5	100.8	100.0	101.1	97.6	—	5.5	▲ 0.8	1.1	▲ 3.5
耐久消費財	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
非耐久消費財	3806.5	95.5	100.8	100.0	101.1	97.6	—	5.5	▲ 0.8	1.1	▲ 3.5
生産財	3957.3	94.4	102.4	100.0	103.1	103.4	—	8.5	▲ 2.3	3.1	0.3
鉱工業用生産財	1264.6	103.9	108.3	100.0	99.3	89.4	—	4.2	▲ 7.7	▲ 0.7	▲ 10.0
その他用生産財	2692.7	90.0	99.5	100.0	105.0	110.0	—	10.6	0.5	5.0	4.8

第8表 財分類別在庫指数

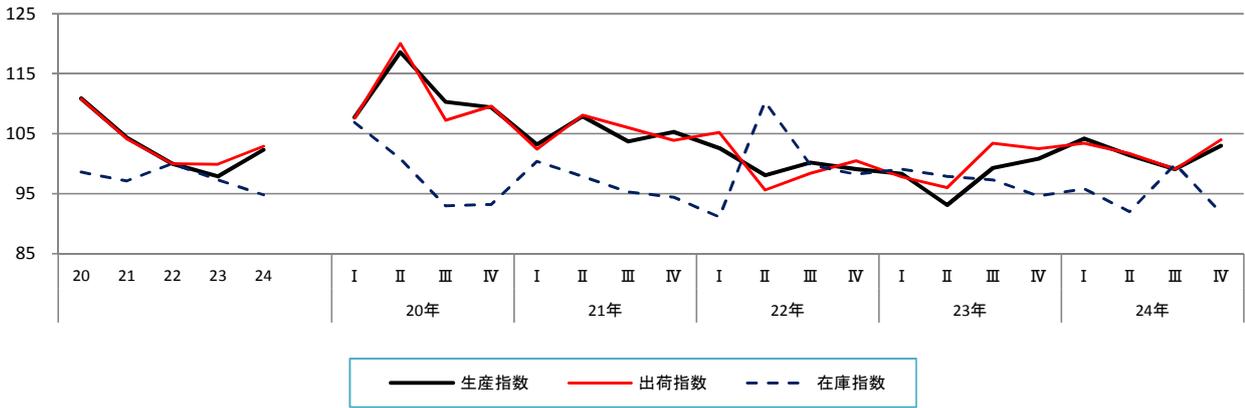
平成22年=100.0

	ウェイト	在庫指数(原指数)					対前年増減率(%)				
		20年	21年	22年	23年	24年	20年	21年	22年	23年	24年
鉱工業	10000.0	91.7	97.3	100.0	97.8	97.4	—	6.1	2.8	▲ 2.2	▲ 0.4
最終需要財	6740.5	90.2	95.7	100.0	98.9	96.3	—	6.1	4.5	▲ 1.1	▲ 2.6
投資財	2340.3	98.6	97.1	100.0	97.3	94.8	—	▲ 1.5	3.0	▲ 2.7	▲ 2.6
資本財	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
建設財	2340.3	98.6	97.1	100.0	97.3	94.8	—	▲ 1.5	3.0	▲ 2.7	▲ 2.6
消費財	4400.2	85.8	95.0	100.0	99.7	97.1	—	10.7	5.3	▲ 0.3	▲ 2.6
耐久消費財	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
非耐久消費財	4400.2	85.8	95.0	100.0	99.7	97.1	—	10.7	5.3	▲ 0.3	▲ 2.6
生産財	3259.5	94.7	100.5	100.0	95.6	99.7	—	6.1	▲ 0.5	▲ 4.4	4.3
鉱工業用生産財	1062.1	97.3	108.8	100.0	99.1	98.9	—	11.8	▲ 8.1	▲ 0.9	▲ 0.2
その他用生産財	2197.4	93.4	96.5	100.0	94.0	100.0	—	3.3	3.6	▲ 6.0	6.4

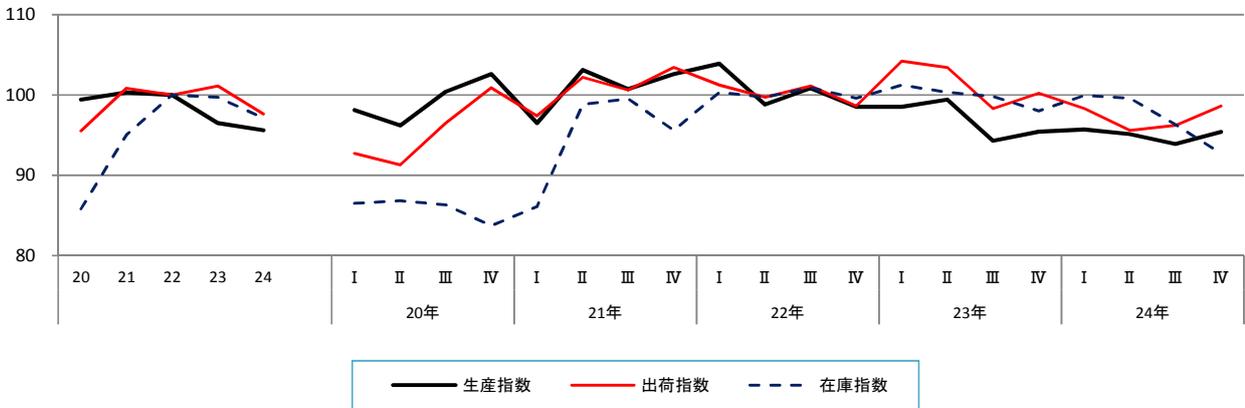
第11図 最終需要財



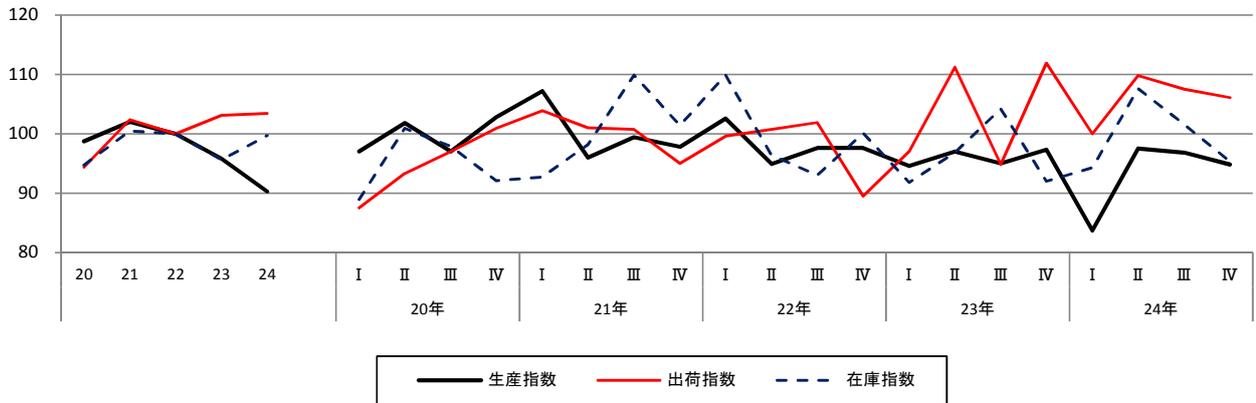
第12図 建設財



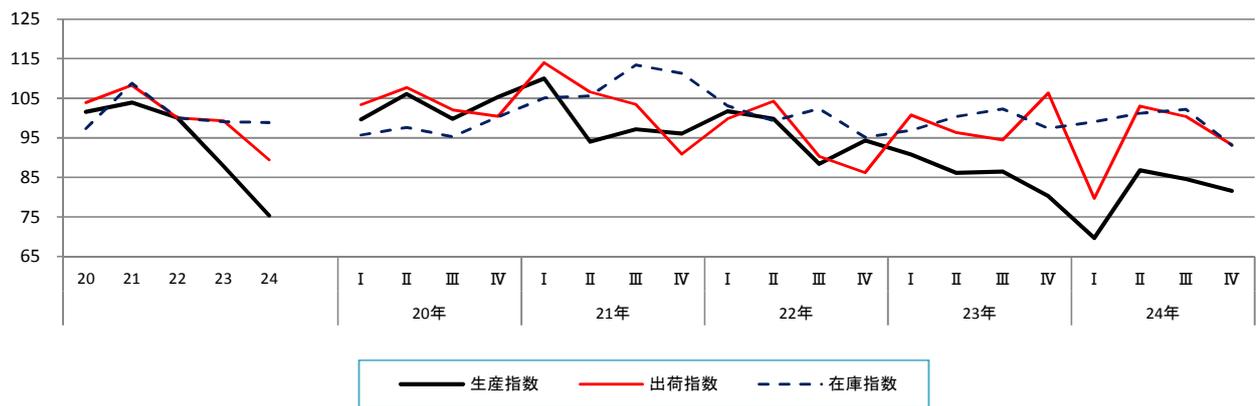
第13図 非耐久消費財



第14図 生産財



第15図 鉱工業用生産財



第16図 その他用生産財

